

表3-7 現在実施している管理手法の区分（ポイント）

管理手法 (ポイント)	タイプ	内 容
4	特 殊	完全密閉又は専門家の提言に基づく対策の実施
3	封 じ 込 め	密閉対策（少量の漏れがある）の実施
2	工学的対策	局所排気装置の設置、部分密閉等
1	全 体 換 気	全体換気設備の設置
0	対 策 な し	保護具着用、保護具の着用なし

(5) リスクの見積り

(3) (4) で求められた区分（ポイント）を引き算して求めます。

$$\text{リスク} = (3) \text{ 望ましい管理手法のポイント} \\ - (4) \text{ 現在実施している管理手法のポイント}$$

例1：有害性のレベル：B 予想ばく露量：EP2

全体換気のみ実施中：1の場合、望ましい管理手法のポイント：3

現在実施している管理手法のポイント：1

$$\text{リスク} = 3 - 1 = 2$$

例2：有害性のレベル：C 予想ばく露量：EP3

対策の実施なし：0の場合、望ましい管理手法のポイント：3

現在実施している管理手法のポイント：0

$$\text{リスク} = 3 - 0 = 3$$

3. リスクの優先度の設定

リスクの優先度は、2. (5) で求められたリスクの点数を表3-8の該当するリスクの優先度を確認し、その内容を「4 リスクの見積り」の「**リスク**」欄に記入します。